

本日、当財団の動画学習サイト内「海外のクルマ・交通事情」にて、『フランス現地調査報告Ⅲ.“相乗り”で交通量抑制へ』『同Ⅳ.クルマの電動化 新車の7割をEVへ』の2本を公開しました。

当財団が昨秋フランスにて実施した、交通分野における脱炭素に向けた取り組みに関する調査報告動画の第3、4章です。

『Ⅲ.“相乗り”で交通量抑制へ』

全体の75%も占める一人乗車のクルマを減らす施策である「相乗り」の定義（「タクシー」、「ライドシェア」との比較）を始め、政府や自治体による利用促進策を紹介しています。

<https://jaef.or.jp/6-kurumajuku/johokan/overseas-topics/index.htm#ch09>

『Ⅳ.クルマの電動化 新車の7割をEVへ』

2030年に新車販売に占める電気自動車の割合を「66%」まで引き上げることを目標とする背景、その達成に向けた施策を取り上げています。

<https://jaef.or.jp/6-kurumajuku/johokan/overseas-topics/index.htm#ch10>

3/15(金)に公開した『フランス現地調査報告Ⅰ.脱炭素社会を目指すフランスの概要』『同Ⅱ.移動手段の主役を自転車へ』と合わせてご覧ください。

当調査報告動画シリーズの最後となる第5章も、後日公開を予定しています。

---

日本自動車教育振興財団 メルマガ事務局

【読者の皆さまへ】

私どもは、先生方や高校生の皆さんにより有益なご支援を提供してまいりたいと考えております。

つきましては、当財団の事業やご支援メニューについて、ご意見やご要望等をお寄せください（以下のいずれかの方法にてお願いします）。

1. 当メルマガに返信
2. SNSでのコメント、返信

ツイッター <https://twitter.com/jidousyakyouiku>

フェイスブック <https://www.facebook.com/jaef2019/>